

NEWS

教室関係

学部

§ 昭和45年度の地理学科開講科目

・地理学概論	4 前	松井	地域概念に即した地理学的知識のまとめ。
・地理学概論	4 後	浅井	現代の地理学の発生を中心にした地理学発達史。
・日本地誌Ⅰ	3 前	正井	日本の人文地理学的諸現象と人文地理学的地域区分について。
・日本地誌Ⅰ	3 後	式	日本の自然地理的性格およびその地域区分ならびに各地域の地方地誌的特性について。
・日本地誌Ⅱ	3 前	松井	日本の農業地域。
・経済地理学Ⅰ	3	松井	日本及び世界の農業経済地理
・経済地理学Ⅱ	3 前	内藤	主要業種別工業分布と工業地域形成のメカニズム
・植物地理学	3・4前	松井	自然地域の構成要素としての植生
・地理学特講Ⅰ	3 前	松井	那須野盆地の地誌
・地理学特講Ⅱ	3 後	竹内	ヨーロッパを中心とする文化地理学に関する諸問題
・気候学Ⅰ	1	浅井	テキストと実習・巡検による、気候の理論と気候誌
・気候学Ⅱ		福井	
・陸水・海洋学	3・4後	浅井	海洋・湖沼・河川・地下水の理論と地誌等
・外国地誌Ⅰ	2	浅井	ヨーロッパの自然・社会・歴史の系統的考察と、地域区分
・外国地誌Ⅲ	3・4	松井	ソ連地誌
・自然地理学実験	3 前	浅井	小気候学・地下水学・湖沼学などに関する、観測・実習・整理・記載の方法等
・自然地理学実験	3 後	浅海	土壌の物理性と化学性に関する室内実験と、野外における土壌と地形の観察
・地質学	2	浅海	岩石・鉱物・地質構造・地史に関する基礎的講義と実習
・土壌学	3 前	浅海	土壌の生成と分布についての土壌地理学的考察
・地形学	2	式	地形輪廻・地形分析・侵食地形・堆積地形・構造地形・地形発

達史に関する理論と実例についての説明

・地図学講義演習	2	式	地形図の作成，地形図を利用した計測及び作図，地形図の判読，地図投影等に関する講義及び実習
・写真地理学	3 前	式	空中写真と写真測量の基礎知識及び空中写真の地理学的判読の方法及び実例の解説
・集落地理学	2 前	正井	集落，特に村落の形態・機能・景観・発達過程に関する考察
・地理調査法Ⅰ	3 後	内藤	統計資料の整理，地図の作成と論文講読
・地理調査法Ⅱ (自然地理学)	3 前	岡崎	文献および図上計測等による自然地理学的事象把握の方法
・都市地理学	3 後	正井	都市の形態・機能・景観・発達過程に関する考察
・歴史地理学	3・4 前	別技	(1)歴史地理学の意義，(2)その具体的研究例
・交通地理学	3 後	有末	交通問題の地理的考察
・地理学演習Ⅱ	3	浅井・浅海・正井	自然地理学関係の内外の諸論文，調査報文等の講読
・地理学演習Ⅲ	3	松井・式・内藤	地誌学的な論文等の講読と紹介，文献による地誌のまとめと発表等
・地理学演習Ⅳ	4	全員	主に卒業論文作成に関する指導と中間発表

§ 一般教育・教職課程

・地理学	1 前	浅海	調査・研究例を中心とした地理学の方法の紹介
・地理学	1 後	正井	世界の諸地域における人文地理学的考察。特に，経済発達・集落景観・都市問題について
・地学(地質・鉱物)	1・2 後	式	重力・地震・火山・岩石・地層・地史など地学的諸現象に関する概論的解説
・教科教育法(地理)	3 前	大和田	地図の話。地理教育を中心に社会科教育のあり方と問題点

§ 地理学巡検

松井先生	1 0 月	那須野	3 年
浅井先生	7 月	高尾山	1 年
浅海先生	1 0 月	富士山周辺	2 年

式 先生	7 月	佐 渡	3・4 年
山本 先生	4 6 年 4 月	茨城県	3 年
正井 先生	3 月	東北北部	2 年
内藤先生	4 月	常盤	3 年

§ 卒 業 論 文

本年度の卒業論文は 1 月 1 6 日（土），提出された。

○ 題目は下記の通りである。

石島 規子	浦和市と大宮市の地理学的比較研究
市原 憲子	千葉県茂原市の地理学的考察
斎藤和加子	宮城県多賀城町の都市地理学的考察
長浜 富子	前橋市と高崎市の地理学的比較研究
花田真知子	房総半島南部館山付近の地理学的考察 — 沖積世の地盤隆起に伴う地形・形成 を中心として —
日比野洋子	茅ヶ崎市の近郊農業に関する地誌的研究
古屋 彰子	群馬県藤岡市域の地理学的考察 — 神流川・鮎川平野の地形を中心として —
細井 京子	工業化による市原の変容 — 京葉臨海工業地帯造成との関連において —
丸山 陽子	札幌付近の泥炭地の開発と土地利用の変化に関する考察
森 栄子	大磯丘陵の地理学的考察
森 純子	鐺川中・下流域の地理学的考察
矢野 道子	発展過程からみた川崎市の都市地理的考察
安田みち子	平塚市の都市化

§ 大 学 院

4 5 年 3 月に、何芳子さん、小林寧さん、松本園子さんが修士の称号を受けた。本年度の入学生は、本学出身の安西久子さん、本沢みどりさん、都立大出身の石渡千珠さんの 3 人である。開講科目は下記の通り。

- ・ 微細地誌特論 松井 小地域の地誌
- ・ 地域特論 松井 地域に関する基本的諸問題
- ・ 気候学特論 浅井 微気候から小気候に亘って気候要素と地面・水面との関連について

- ・地形誌特論 浅海 地形面と土壌型との関連性について
- ・地誌特論 式 自然地理学および地形誌的地域区分に関する内外の実例の紹介及び文献の講読
- ・人文地理学演習 正井 都市の文化景観に関する考察
- ・気候誌特論 福井 気候誌の諸問題について内外の論文の比較論評
- ・地形学特論 佐藤 自然環境形成要素としての地形の役割について
- ・文化地理学特論 別枝 アジア諸地域を中心とした文化地理学の諸問
- ・地誌学演習 山鹿 中央日本の地誌研究の実例等
- ・野外調査 浅海・式・正井

修士論文題目

坂口 陽子 日本の潟湖性低地に関する地形学的研究

中間美美子 奄美大島龍郷村の村落構造 — 既存宗教との関係を中心にして —

§ 渡辺教授の退官

45年3月31日をもって渡辺光教授が停年退官された。先生は33年8月にお茶大に着任以来約10年間、地理学科主任教授として、或いは文教育学部長としてその重責を果たされてきた。

去る43年8月より準備を進めてきた渡辺光教授退官記念会（実行委員長松井勇教授）では、550余名の賛同を得て記念事業を行った。記念出版物として「現代の地理学 — その課題と展望」（A5判400頁・古今書院印刷）を刊行し、先生自著「Regional Divisions of Japan」（お茶の水女子大学人文科学紀要23巻 87—129頁 1970年3月）別刷600部の増刷を行った。又45年4月25日には、音羽天風会館にて記念賀宴（出席者180名）を開催し、書斎道具一式、お茶の水地理第11号（退官記念号）580部その他の記念品を贈呈した。

§ 内藤講師の新任

退官された渡辺先生に代って4月1日より東北大学から内藤博夫先生が地誌講座の講師として着任された。先生は37年東京大学教養学部教養学科人文地理学分科を卒業、39年東京大学院修士課程を修了され、東北大学理学部地理学教室の助手を5年間勤められた。御専門は工業地理学、特に繊維工業である。本年度は経済地理学Ⅱ（工業地理学）、地理調査法Ⅰ、地理学演習Ⅲを担当された。

§ 教官の学内役職

松井先生	地理学科主任・図書館運営委員・図書選定委員
浅井先生	1年生補導委員・評議員・施設計画委員・臨海実験所運営委員・館山土地利用計画委員
浅海先生	4年生補導委員・建築委員長・ラジオアイソトープ実験室準備委員・カリキュラム委員
式先生	3年生補導委員・人文科学紀要編集委員長・臨海実験所運営委員・館山土地利用計画委員・臨時学生会館運営委員
正井先生	2年生補導委員

中原 敦子	(本学昭42卒)	人文地理学
杉本 良子	(本学昭30卒)	"
玉城 恵子	(本学昭43卒)	"
金子 晶子	(本学昭35卒)	"
瀬尾 由紀	(本学昭45卒)	自然地理学及図書整理
二瓶 直子	(本学修士昭44卒)	自然地理学
林原 陽子	(本学修士昭43卒)	地誌学及空中写真整理

§ 学会関係

45年4月26～29日の4日間にわたって、1970年日本地理学会総会及春季大会が行われた。研究発表は岸記念体育館で行われ、本学関係発表者は次の通りである。長瀬睦子氏（1回生）：八日市場附近の地形（他2名と共同研究）、林原陽子氏（14回生）：大磯地塊西部曾我山礫層の堆積の成因について、二瓶直子氏（15回生）：本邦における日本住血吸虫病の医学地理学的研究。巡検は、市街地再開発と商業機能の変化（都心及東京東部）、東名高速自動車道周辺地域の変容、郡内地方・甲府盆地の土地利用・伝統産業、相模川の河岸段丘、の4班に分れて行われた。

秋季大会は10月10日～13日の4日間、人文地理学会と合同で奈良女子大学で開催された。「歴史時代における中心集落」、「土地分類」、「行政地域の再編成と道州制をめぐる」の3シンポジウムを中心として行われ、このうち「土地分類」において浅海先生の「台地地域の土地分類」